

地域おこし協力隊が出会った /

ステキ

な人紹介

3年間の活動を終えて～地域と暮らす～

地域おこし協力隊 **宮本 好さん**
(洞爺第6)

洞 爺湖町に移住してきて3年がたとうとしていま

す。幼い頃は、転勤族の父の仕事柄、道内を転々と暮らしていた私にとって、祖父母が暮らす洞爺湖町は第2の故郷です。

結婚、出産を機に自然豊かな地域で暮らしたいと漠然と考えていた私は、ある日、洞爺湖町地域おこし協力隊の募集を目にして応募。採用が決

まり、主人と1歳の息子と3人で移り住んでから、今日の日まであつという間の3年間でした。

この3年間は、洞爺湖町の地域おこし協力隊として、地域でのイベントや農作物のPRを中心に、洞爺湖町のブランド力の向上に努めてきました。

今までの人生で農業とは全く違う世界で生きてきた私に

とって、何をどのように伝えていくかを考えることは、大変でした。

農家の皆さんの所に通って、いろいろ質問しながら作業を手伝い、農業をひたすら学ぶ悪戦苦闘の日々の連続でした。そんな私を地域の皆さんはいつも温かく受け入れ、惜しみない協力をしてくれました。

今では、「食べることを通して地域の豊かさをもっとたくさんの人に知って欲しい、地域のために何かしたい」という想いは日々強くなっています。

任期は、3月で終了となりますが、いつも楽しみながら、ワクワクする日々を目指して、これからも洞爺湖町で暮らしていきたいと思っています。

今後は、地域の人と触れ合いながら、財田地区で小さな雑貨店を営んでいく予定です。近くにお越しの際はぜひ遊びにきてください。

地域の皆さんに支えていただいた3年間でした。ありがとうございました。

pickup news



放水を体験する児童

1月26日の文化財防火デーに合わせ、翌日の27日、入江・高砂貝塚館で防火訓練(教育委員会主催)が行われ、児童ら14人が参加して文化財保護の大切さを学びました。当日は、展示室から出火したとの想定で、警報ブザーと共に避難を開始し、貴重な土器や石器などの展示品を運びだしました。屋外では、洞爺湖支署の消防車1台が駆けつけ放水実施。引き続き、同署員の指導で児童らが放水体験を行い、防火意識を高めました。

文化財防火デー
入江・高砂貝塚館で
防火訓練

